

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月29日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	雲南市	代表者名	速水雄一
担当者部署	政策企画部	連絡先電話番号	0854-40-1015
担当者役職		担当者氏名	
住所	699-1392 島根県雲南市木次町里方521-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	井上 あい子様は、市役所やケーブルテレビ会社での勤務経験もあり、また各地で携われた経験をもとに、我々が課題としていることに対して様々な角度からご指導いただきました。
アドバイザーへの要望事項	これから事業を進めるにあたって、まだまだ課題はたくさんあるので、今後も引き続きご指導をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月21日	13時00分	17時10分	10	240
3-2. 派遣場所	会場名	雲南市役所		最寄駅	JR木次駅
	所在地	島根県雲南市木次町里方521-1			
	最寄駅からの交通手段	市営バスまたはタクシー			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	雲南市職員及び雲南市飯南町事務組合職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	ケーブルテレビの伝送路設備について、現在は市全域を同軸ケーブルによって敷設しサービスを提供しているが、老朽化により故障が年々増加し、機材も製造終了により調達が困難な状況にある。このような状況において、早急に伝送路設備更新の方向性を決める必要があるが、事業費、補助金等の課題がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	現在、市の総合計画や実施計画、情報化計画を策定しており、それぞれの計画に伝送路設備の更新の方向性を盛り込む必要があるため、今年度中には方向性を決定する必要がある。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	ケーブルテレビ伝送路の更新に伴う、比較検討(民間事業者参入と独自整備)や提供サービス及び利用料の見直しなどについて、他の事例を交え助言をいただいた。また、伝送路の敷設についても冗長化などの助言をいただいた。更新による域内情報格差の是正のみではなく、災害対応、移住施策、テレワーク、歴史文化発信等、都市部と遜色ない環境により、今後の強みとなる。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	伝送路更新の方向性を決めるにあたって、市民代表(移住者や若者を含む)、商工業者、学識経験者などの意見も聞きながら進めると効果的である。小さな市でも情報通信基盤の整備をすることによって、付加価値が付き、移住定住に繋がるので、整備は重要である。整備には多額の経費をかけるため、伝送路をケーブルテレビ以外に活用することによって、整備の効果や理解が得られる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	伝送路の更新は、必ず行う必要があるが、整備年数をどのように計画するのか。(補助制度や請負業者、伝送路のケーブル長などから標準的なものがあるのか)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは行っていない	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月29日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	雲南市	代表者名	速水雄一
担当者部署	政策企画部	連絡先電話番号	0854-40-1015
担当者役職	課長	担当者氏名	伊藤 豊
住所	699-1392 島根県雲南市木次町里方521-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	井上 あい子様は、市役所やケーブルテレビ会社での勤務経験もあり、また各地で携われた経験をもとに、我々が課題としていたことに対して様々な角度からご指導いただきました。
アドバイザーへの要望事項	これから事業を進めるにあたって、まだまだ課題はたくさんあるので、今後も引き続きご指導をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月22日	9時00分	12時10分		190
3-2. 派遣場所	会場名	雲南市・飯南町事務組合		最寄駅	JR木次駅
	所在地	島根県雲南市木次町里方1335-3			
	最寄駅からの交通手段	市営バスまたはタクシー			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	雲南市職員及び雲南市飯南町事務組合	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	ケーブルテレビ伝送路の更新に多額の経費をかけるため、伝送路をどのように活用するのか。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	ケーブルテレビ伝送路の活用について、市の情報化計画に盛り込む。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	出席者から事前にいただいた質問に対して、他の地域での導入例(広報戦略、定点カメラ、フリーwi-fi、VR・AR、テレワーク)などを紹介して、助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	定点カメラを設置し、放送事業者と連携することにより、災害時等に活用でき全国へ発信できる。VR・ARについては、費用対効果から検討しなければならない。情報発信についてもフェイスブックだけでなく、ツイッター、ペリスコープ、インスタグラムを活用するとより、効果がある。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	情報化計画策定プロジェクトチームの一部のメンバーが参加したが、全メンバーと今回アドバイザーからいただいた情報を共有し、具体的な利活用を検討しなければならない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは行っていません	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

